

LIXIL 鋳物プッシュプルKB錠・MA錠 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。
特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

注意

- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

■ 梱包明細表

【1】 プッシュプルKB錠・MA錠セット

※ 把手セットの図はKB錠です。MA錠は、レバーの形状が図とはことなります。

名 称	略 図	員 数												
		ダブルロック					シングルロック					空錠		
		片錠		親子錠		両錠	片錠		親子錠		両錠	片錠	両錠	
		内開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	内開き用	外開き用
可動把手セット (内開き用)		1	1	-	1	-	1	1	-	1	-	1	1	-
可動把手セット (外開き用)		-	-	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	1
固定把手セット		-	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	1	1
把手固定裏板		2	2	2	4	4	2	2	2	4	4	2	4	4
ラッチ錠ケース		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
鎌錠ケース		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	-	-	-
メインシリンダー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-
サブシリンダー		1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
セキュリティサムターンユニット		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	-	-	-
サムターン座		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	-	-	-
おでかけサムターン (※1)		3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	-	-	-
エマージェンシー (※1)		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	-	-	-
専用キー (※1)		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-	-	-
【1-1】 M4×12サラ小ネジ		6	6	6	6	6	4	4	4	4	4	-	-	-
【1-2】 M5×20サラ小ネジ		4	4	4	8	8	4	4	4	8	8	4	8	8
【1-3】 M4×8丸サラ小ネジ (D=8)		4	4	4	8	8	4	4	4	8	8	4	8	8
【1-4】 M5×45トラス小ネジ		4	4	4	4	4	2	2	2	2	2	-	-	-
取付説明書 (A466)	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
取扱説明書 (UA175)	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1










※1 施工終了後に、必ず施主様にお渡しください。

【1】プッシュプルKB錠・MA錠セット（つづき）

名 称	略 図	員 数													
		ダブルロック						シングルロック				空錠			
		片錠		親子錠		両錠		片錠		親子錠		両錠		片錠	両錠
		内開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用	内開き用	外開き用
錠受け金具部品箱	ラッチ錠調整ストライク		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ラッチ錠調整トロヨケ（両錠用）		-	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	1	1
	ラッチ錠調整トロヨケ（片錠用）		1	1	1	-	-	1	1	1	-	-	1	-	-
	鎌錠ストライク		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	(※2) 2	(※2) 2	(※2) 2
	鎌錠トロヨケ（両錠用）		-	2	2	2	2	-	1	1	1	1	-	(※2) 2	(※2) 2
	鎌錠トロヨケ（片錠用）		2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	(※2) 2	-	-
	【1-5】 M4×16バネ座金付きナベ小ネジ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
【1-6】 M4×16サラ小ネジ		4	4	4	4	4	2	2	2	2	2	2	4	4	4

※2 シングルロック時の使用数は1個です。

【2】錠部品セット

名 称	略 図	員 数		
		片錠		両錠
		右勝手	左勝手	
落とし棒セット		-	-	1
ヒンジ上（右）セット		1	-	1
ヒンジ上（左）セット		-	1	1
ヒンジ下（右）セット		1	-	1
ヒンジ下（左）セット		-	1	1
戸当りセット		1	1	1
落とし棒受け		-	-	2
【2-1】 M5×16サラ小ネジ		3	3	3
【2-2】 M5×20トラス小ネジ		-	-	2

1. 各部の名称

※図は右勝手内開きを示します。シングルロックの場合は、シリンダーはメインシリンダーのみ、鎌錠は上側のみにになります。

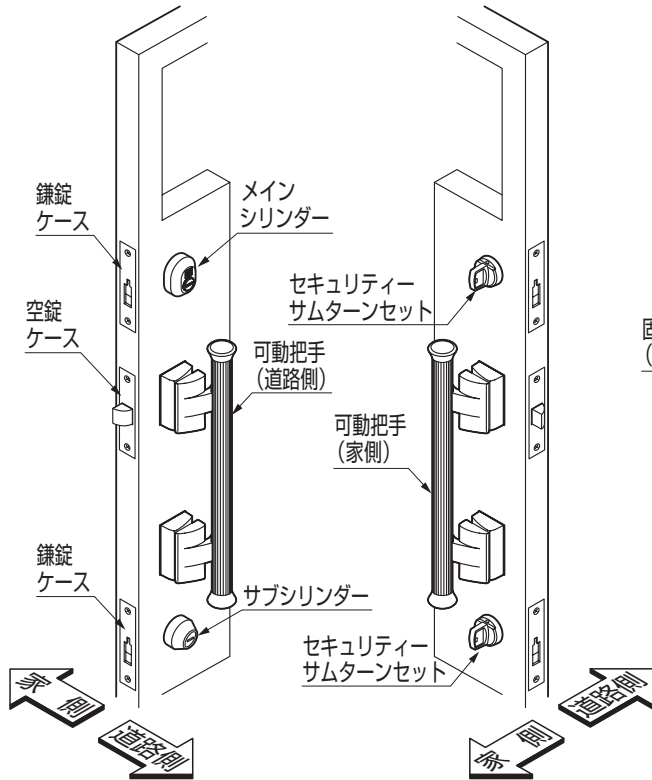


図1-1 掛扉/道路側

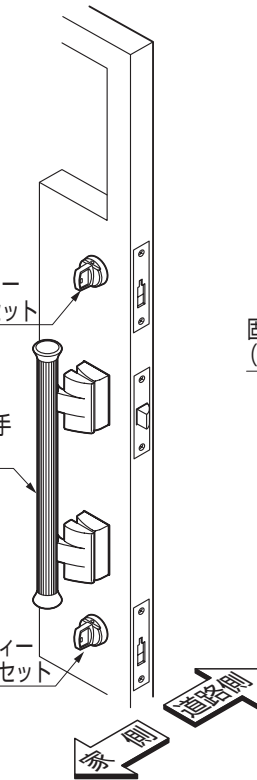


図1-2 掛扉/家側

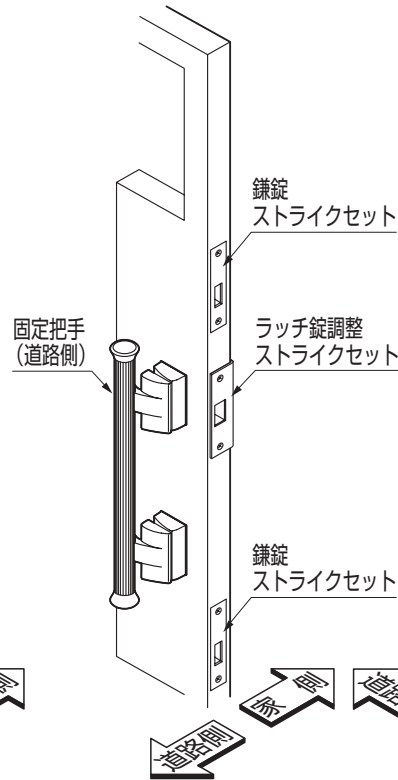


図1-3 受扉/道路側

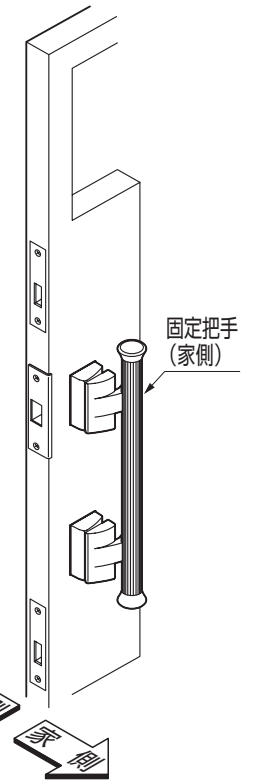


図1-4 受扉/家側

		両開き		片開き	
内開き	右勝手	戸当り 錠本体	↑ 家側 ↓ 道路側	右勝手 戸当り 錠本体	↑ 家側 ↓ 道路側
	左勝手	戸当り 錠本体	↑ 家側 ↓ 道路側	左勝手 戸当り 錠本体	↑ 家側 ↓ 道路側
外開き	右勝手	戸当り 錠本体	↑ 家側 ↓ 道路側	/	
	左勝手	戸当り 錠本体	↑ 家側 ↓ 道路側		

図1-5 勝手指示図

2. ヒンジの取付け

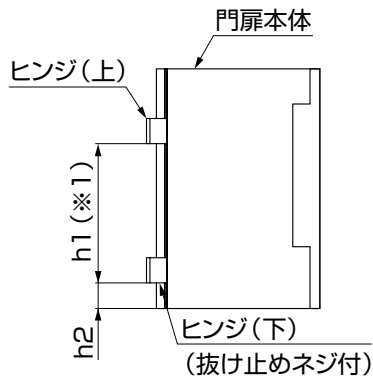


図2-1 ヒンジ取付位置

表2-1

h1	h2
門柱呼称(※2)-500mm	163

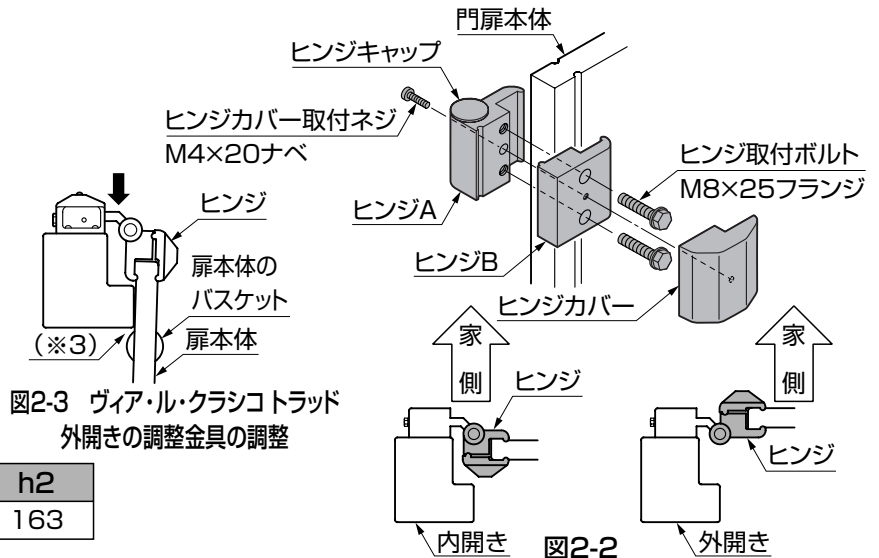


図2-3 ヴィア・ル・クラシコトラッド
外開きの調整金具の調整

①図2-2のようにヒンジに取付けてください。

ポイント

- 「抜け止めネジ」のネジ孔のあるヒンジが下にくるようにします。
- トラッド門扉の外開きの場合は、バスケット形状部が柱に当たらないように調整金具を調整してください。(※3) (図2-3参照)

②ヒンジ(下)、(上)の順に調整金具のシャフトに差込んでください。

③門扉を開け、ヒンジ(下)の「抜け止めネジ」を締めてください。

④ヒンジカバーを取付けてください。

補足

- 埋込仕様の場合のh1寸法(※1)は、埋込金具の取付説明書をご覧ください。
- 門柱呼称(※2)は、下記の例に示すように読み替えてください。
例) 門柱呼称: H16→1600mm
- 調整金具への取付け取外しをくり返すうちに、ヒンジに内蔵している樹脂ベアリングが脱落する事がありますが、その場合でも再度差込めば使用できます。

3. 戸当り取付け

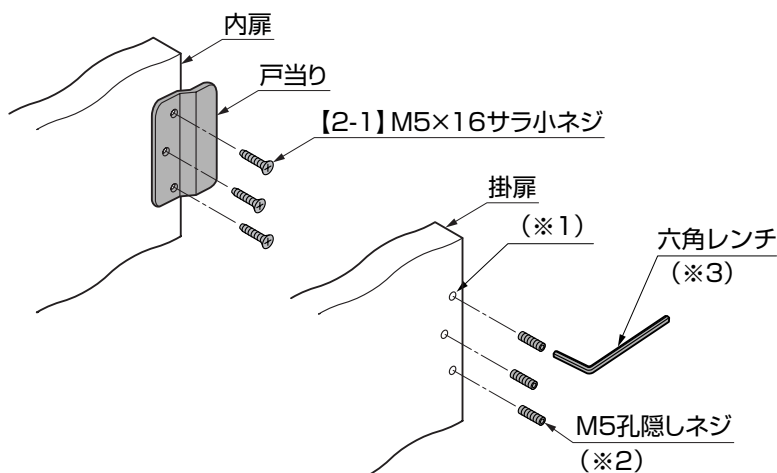


図3-1 外開き孔隠しネジの付替え

①【2-1】で戸当りを取付けてください。

ポイント

- 外開きの場合は、受扉に付いている孔隠しネジ(※2)を外して、戸当りを受扉に取付けてください。外した孔隠しネジは掛扉の戸当り取付け孔(※1)に取付けてください。(図3-1参照)

補足

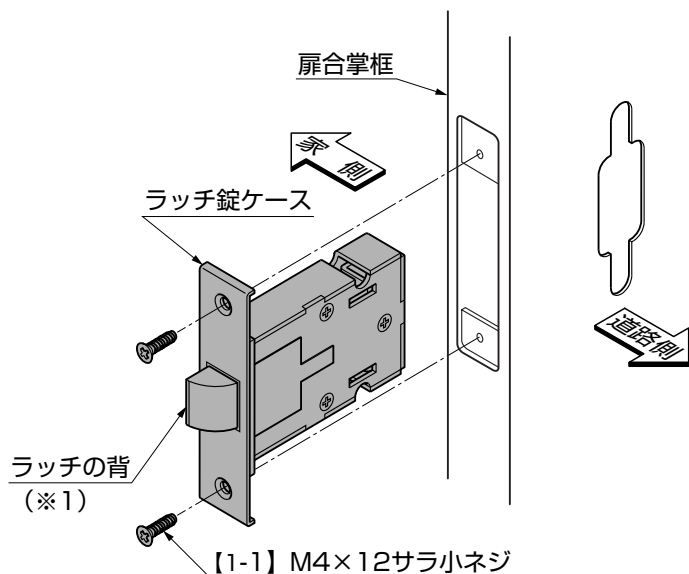
- 孔隠しネジ(※2)は、受扉の戸当り取付け孔に付いています。
- 六角レンチ(※3)は、受扉に同梱しています。

4. 把手の取付け

※図は右勝手内開きを示します。

4-1 ラッチ錠ケースの取付け

※掛扉への作業です。



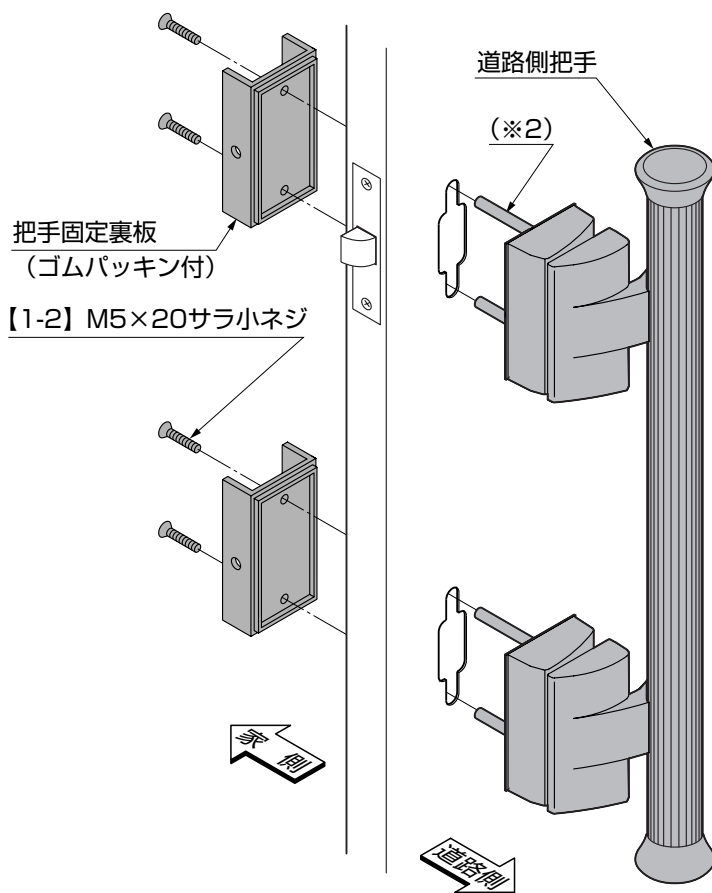
①ラッチの背(※1)を家側に向け、ラッチ錠ケースを掛扉に【1-1】で取付けてください。

ポイント

- 外開きの場合は、ラッチの背(※1)を道路側に向けて取付けてください。
- タッチ&ノータッチ門扉の場合は、扉の中に電気錠用のコードを配線しています。ラッチ錠ケースを取付ける時に、コードをさけて取付けてください。

4-2 道路側把手の取付け

※掛扉・受扉へ同様の作業を行ってください。



①道路側把手(可動把手)を道路側から掛扉の取付孔に差込み、家側から把手固定裏板を当て、【1-2】で取付けてください。

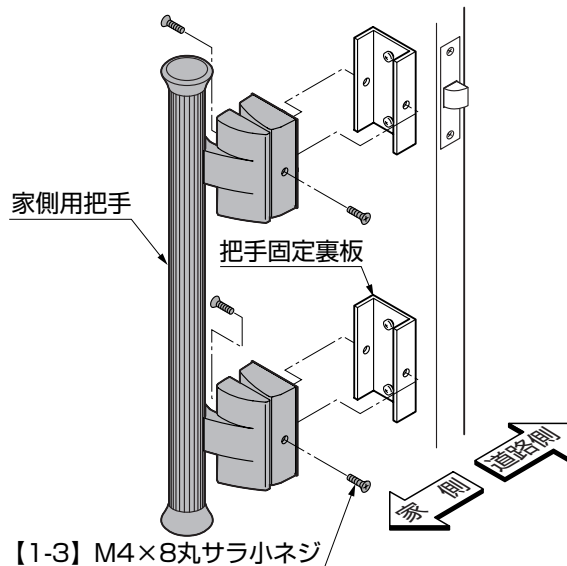
ポイント

- 道路側把手は、取付軸(※2)が付いています。
- 両開きの受扉には、道路側把手(固定把手)を同様に取付けてください。
- タッチ&ノータッチ門扉の場合は、扉の中に電気錠用のコードを配線しています。把手を取付ける時に、コードをさけて取付けてください。

4. (つづき)

4-3 家側把手の取付け

※掛扉・受扉へ同様の作業を行なってください。



- ①家側把手(可動把手)を把手固定裏板にはめ、【1-3】で取付けてください。

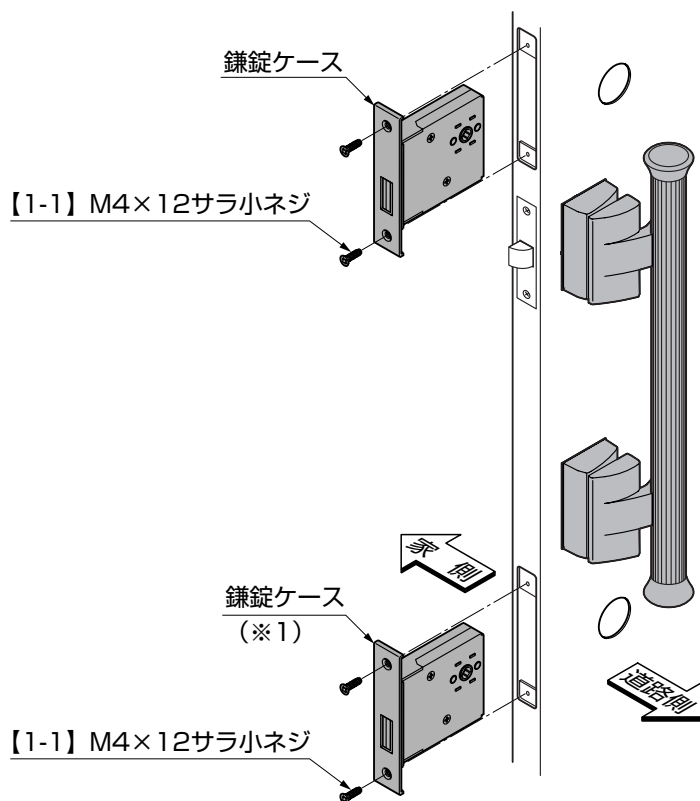
5. シリンダーの取付け

※掛扉への作業です。(空錠仕様は除きます。)

※図は右勝手内開きを示します。

5-1 錠ケースの取付け

※図はダブルロックを示します。



- ①上下2カ所に錠ケースを【1-1】で取付けてください。

ポイント

- 錠ケースの上下を確認して取付けてください。
- シングルロックでの錠錠は、上側だけです。(※1)

5-2 シリンダーの取付け

※図はダブルロックを示します。

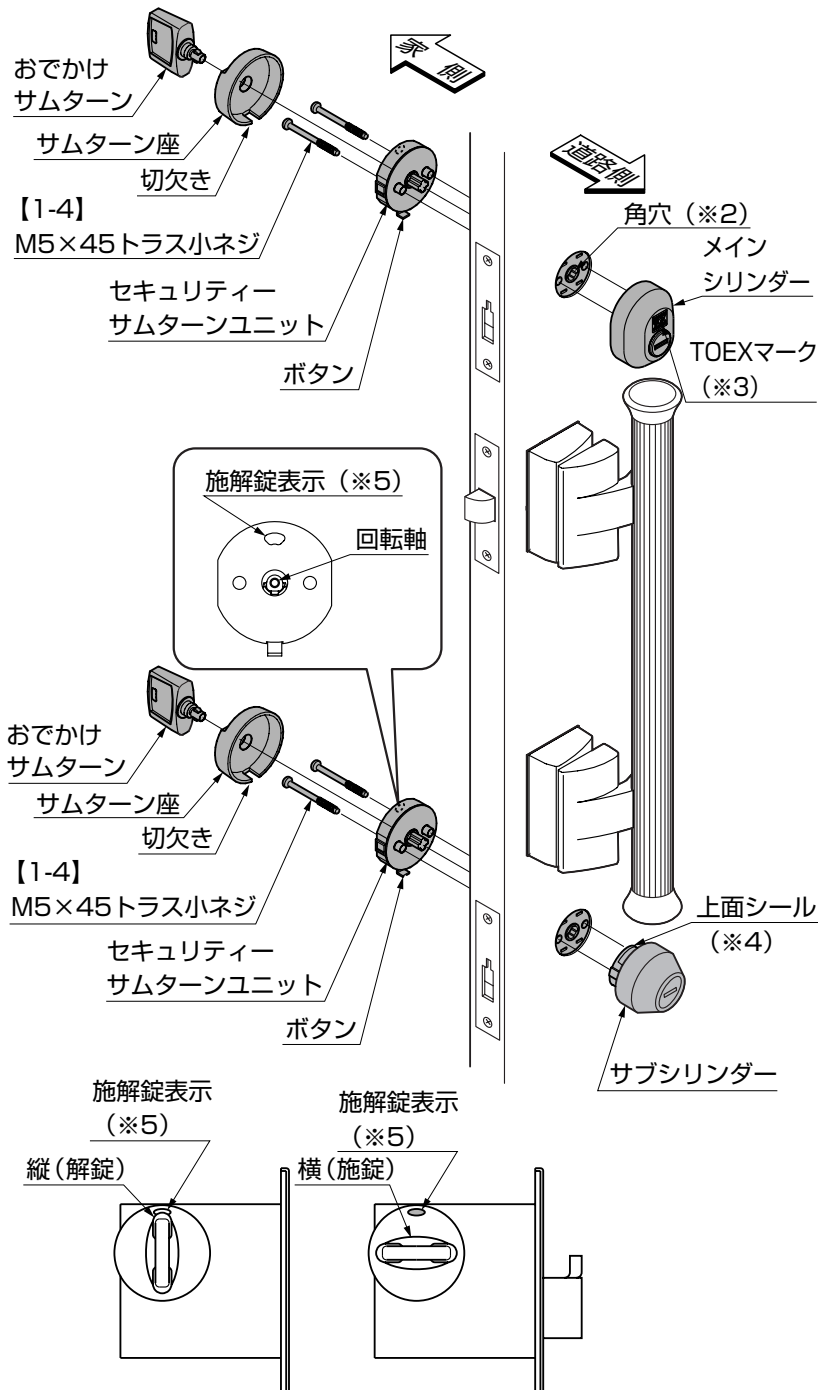


図5-1 おでかけサムターンツマミの操作

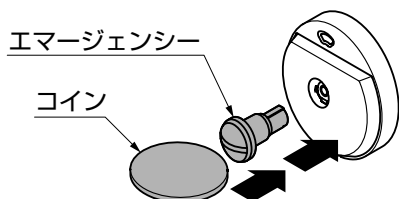


図5-2 エマージェンシーの操作

- ①メインシリンダーを上部に、サブシリンダーを下部にそれぞれの鎌錠ケース角孔 (※2) に差込んでください。

ポイント

- シングルロックはメインシリンダーだけです。

補足

- メインシリンダーは「TOEXマーク」(※3)を上にして取付けてください。
- サブシリンダーは「上面シール」(※4)を上にして取付けてください。

- ②セキュリティーサムターンユニットのボタンを下向きにして【1-4】でシリンダーに取付けてください。

ポイント

- 施解錠表示 (※5)の色が白であることを確認して取付けてください。黒の場合は回転軸を回して白にします。

- ③サムターン座の切欠きを、セキュリティーサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込んでください。

- ④ボタンを上を押上げながら、おでかけサムターンを差込み、ツマミを回すと鎌錠が作動することを確認してください。

ポイント

- おでかけサムターンは縦にして取付けてください。
- おでかけサムターンを差込んだ後、ボタンが戻るとサムターンが抜けなくなります。
- おでかけサムターンのツマミを回すと、施解錠表示 (※5)が解錠時「白」、施錠時「黒」になります。(図5-1参照)

- ⑤エマージェンシーをおでかけサムターンと同様に差込み、コインで回転することを確認してください。(図5-2参照)

6. 錠受け金具の取付け

※受扉、小扉、柱、片開き受け部材への作業です。

※図は右勝手内開きを示します。

6-1 ラッチ錠調整ストライクセット（両錠・親子錠）の取付け

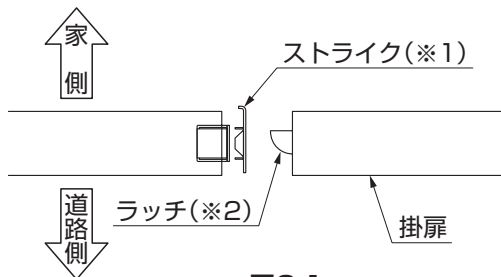
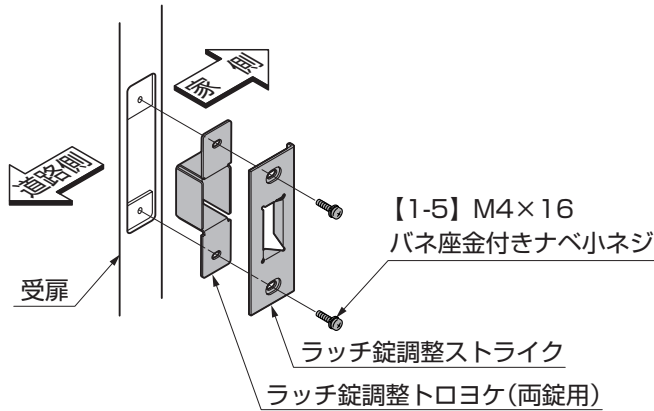


図6-1

- ①ラッチ錠調整トロヨケ（両錠用）とラッチ錠調整ストライクを、【1-5】で取付けてください。

ポイント

- 内開きの場合は、ストライクの曲げ側（※1）を家側に、外開きの場合は道路側に向けて取付けてください。（図6-1参照）

6-2 ラッチ錠調整ストライクセット（片錠）の取付け

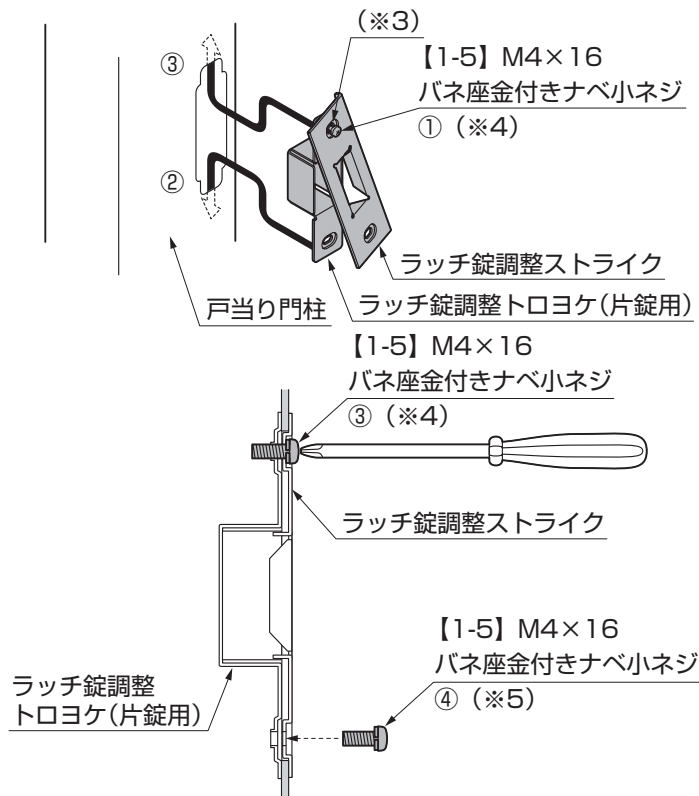
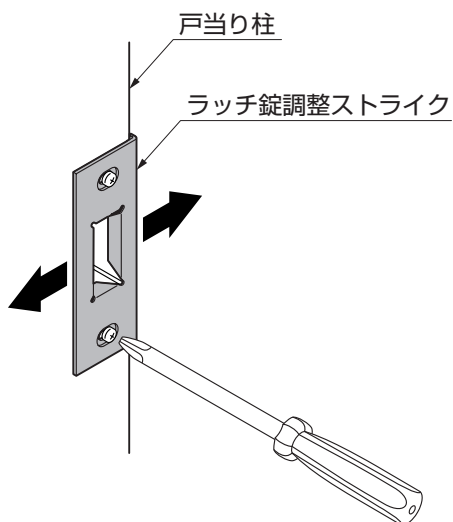


図6-2 ラッチ錠調整ストライクセットの仮止め

- ①ラッチ錠調整トロヨケ（片錠用）とラッチ錠調整ストライクの上側取付孔（※3）に、【1-5】（※4）を仮止めしてください。
- ②ラッチ錠調整トロヨケ（片錠用）の下部を戸当り門柱の加工孔の内側に潜らせて、ラッチ錠調整ストライクセット（片錠用）を一旦下方へスライドさせてください。
- ③ラッチ錠調整ストライクセット（片錠用）を【1-5】（※4）が加工孔のエッジに突き当たるまで上方にスライドさせて、戸当り門柱をラッチ錠調整ストライクセット（片錠用）ではさみ込むようにした状態で【1-5】（※4）を締め付けて取付けてください。（図6-2参照）
- ④ラッチ錠調整ストライクセット（片錠用）の下側取付孔に【1-5】（※5）を締め付けて取付けてください。（図6-2参照）

6-3 ラッチ錠調整ストライクセットの調整

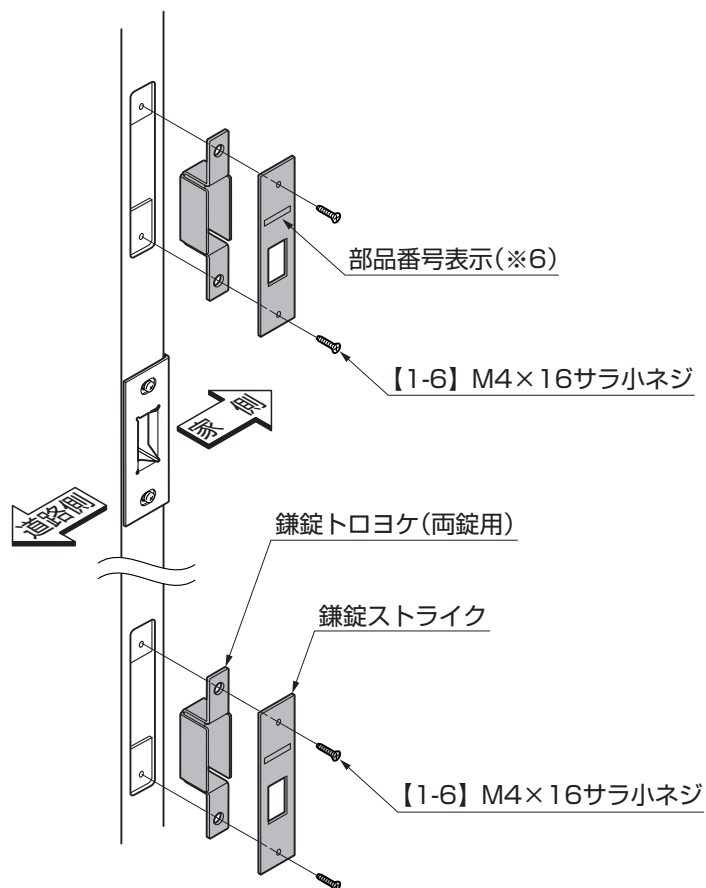


①ラッチ錠調整ストライクをスライドさせて、掛扉のラッチとのあそびを調整してください。

補足

●図は片錠用を示しています。
両錠用の場合も片錠用と同様の方法で調整してください。

6-4 鎌錠ストライクセット（両錠用）の取付け



①鎌錠ストライクの裏面の部品番号(※6)が上向になるようにして、鎌錠トロヨケ(両錠用)と重ねて【1-6】で取付けてください。

6. (つづき)

6-5 鎌錠ストライクセット (片錠用) の取付け

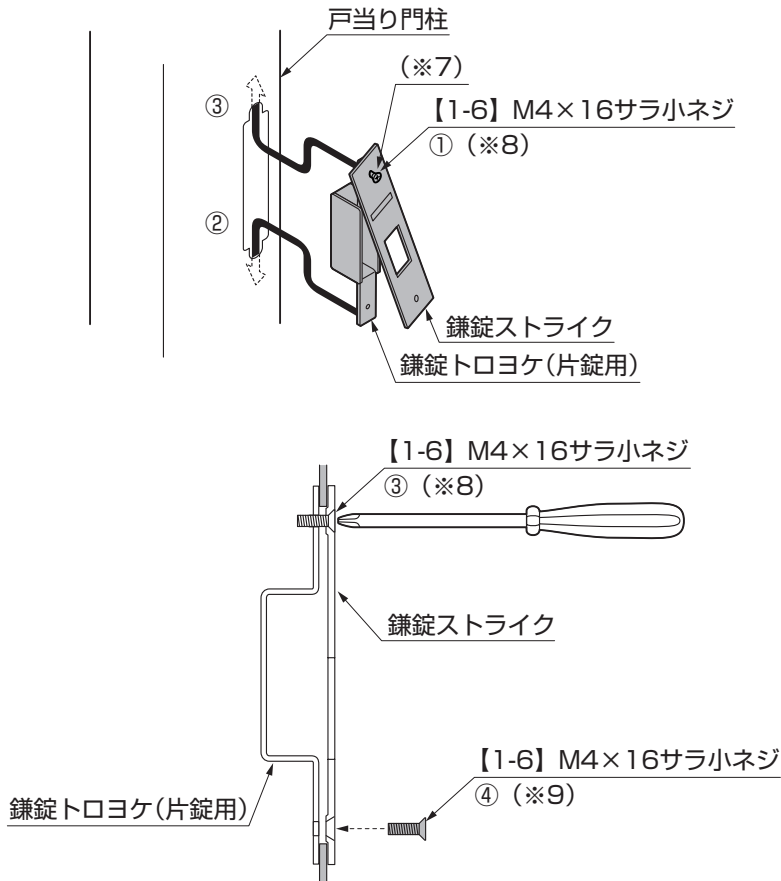


図6-3 鎌錠ストライクセット (片錠用) の取付け

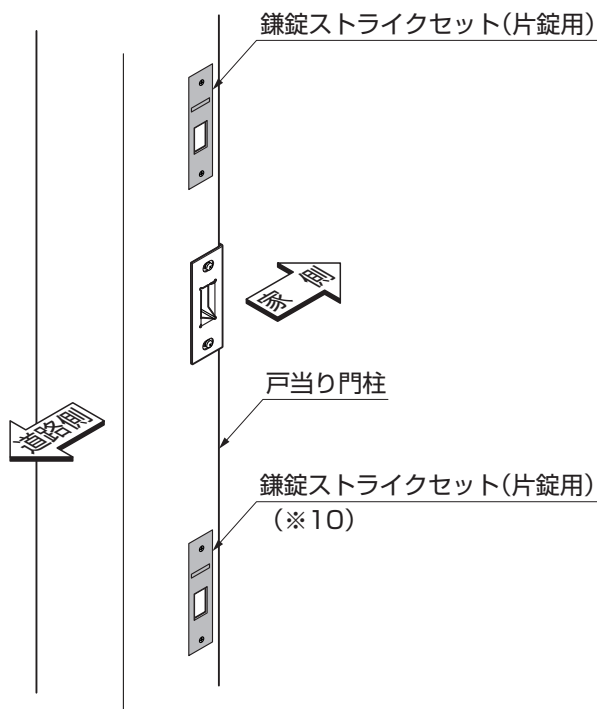


図6-4 鎌錠ストライクセット (片錠用) の取付け

① 鎌錠トロヨケ (片錠用) と鎌錠ストライクの上側取付孔 (※7) に、【1-6】 (※8) を仮止めしてください。

② 鎌錠トロヨケ (片錠用) の下部を戸当り門柱の加工孔の内側に潜らせて、鎌錠ストライクセット (片錠用) を一旦下方へスライドさせてください。

③ 鎌錠ストライクセット (片錠用) を【1-6】 (※8) が加工孔のエッジに突き当たるまで上方にスライドさせて、戸当り門柱を鎌錠ストライクセット (片錠用) ではさみ込むようにした状態で【1-6】 (※8) を締め付けて取付けてください。(図6-3参照)

④ 鎌錠ストライクセット (片錠用) の下側取付孔に【1-6】 (※9) を締め付けて取付けてください。(図6-3参照)

⑤ 下側鎌錠ストライクセット (片錠用) も①～④の手順で取付けてください。(図6-4参照)

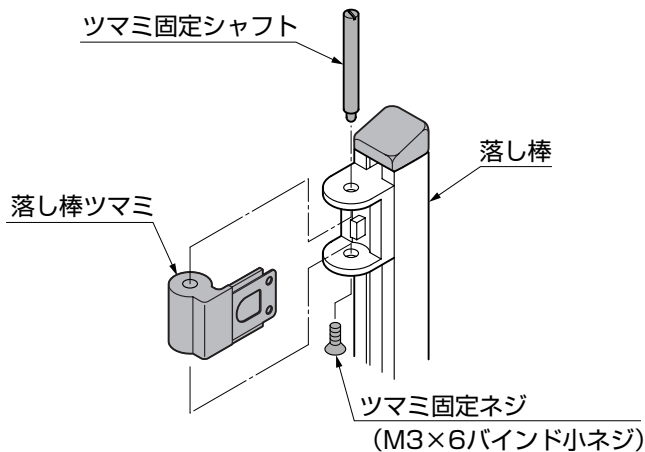
ポイント

- シングルロックでの鎌錠ストライクセットは、上側だけです。(※10)

7. 落とし棒の取付け

※落とし棒は両錠、親子錠に付きます。片錠には付きません。

7-1 勝手の変更（左勝手の場合）



ポイント

- 出荷時は右勝手用で組立ててあります。左勝手に使用する場合は、ツマミを左勝手に組替えてください。

7-2 取付け方法

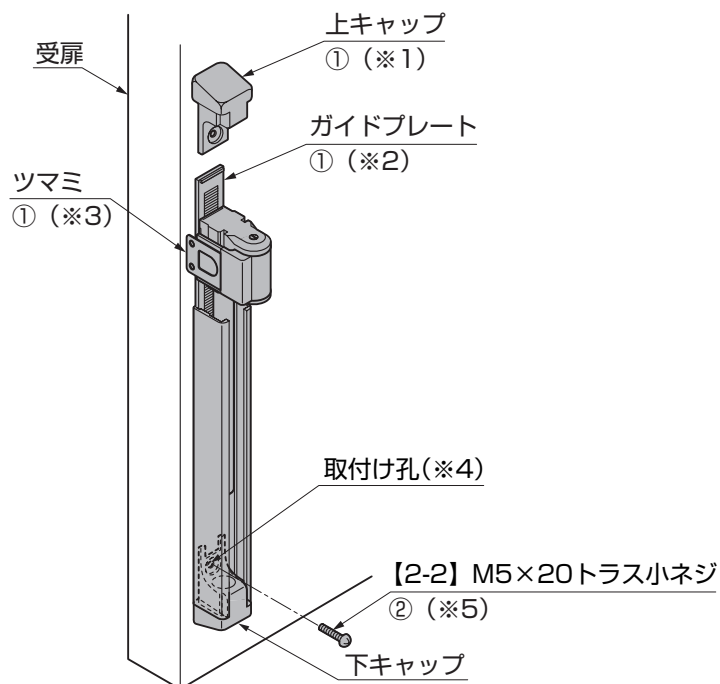


図7-1 落とし棒下側取付け

- ①落とし棒セットの上キャップ(※1)を抜き取り、ガイドプレート(※2)とツマミ(※3)を上方にスライドさせて、下側取付け孔(※4)が見えるようにしてください。

(図7-1参照)

- ②取付け孔(※4)に【2-2】(※5)を締め付け、落とし棒セットの下側を受扉に固定してください。

(図7-1参照)

ポイント

- ②で(※4)をネジ止めする時、(※6)と受扉の取付け孔の位置を合わせてください。

7. (つづき)

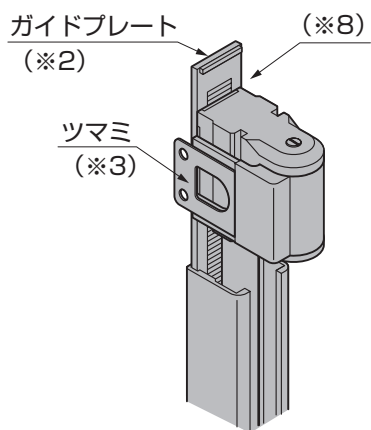


図7-2

- ③ガイドプレート(※2)とツマミ(※3)を下方にスライドさせてから、上キャップ(※1)を被せてください。
(図7-3参照)

ポイント

- ③でツマミ(※3)をスライドする時、ツマミ(※3)がガイドプレート(※2)より上に出ないようにしてください。
(※8)
(図7-2参照)

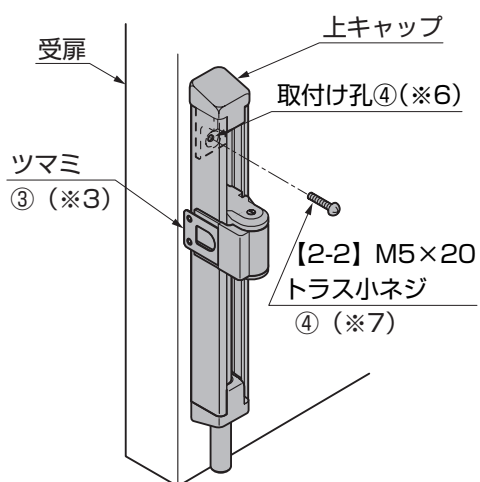
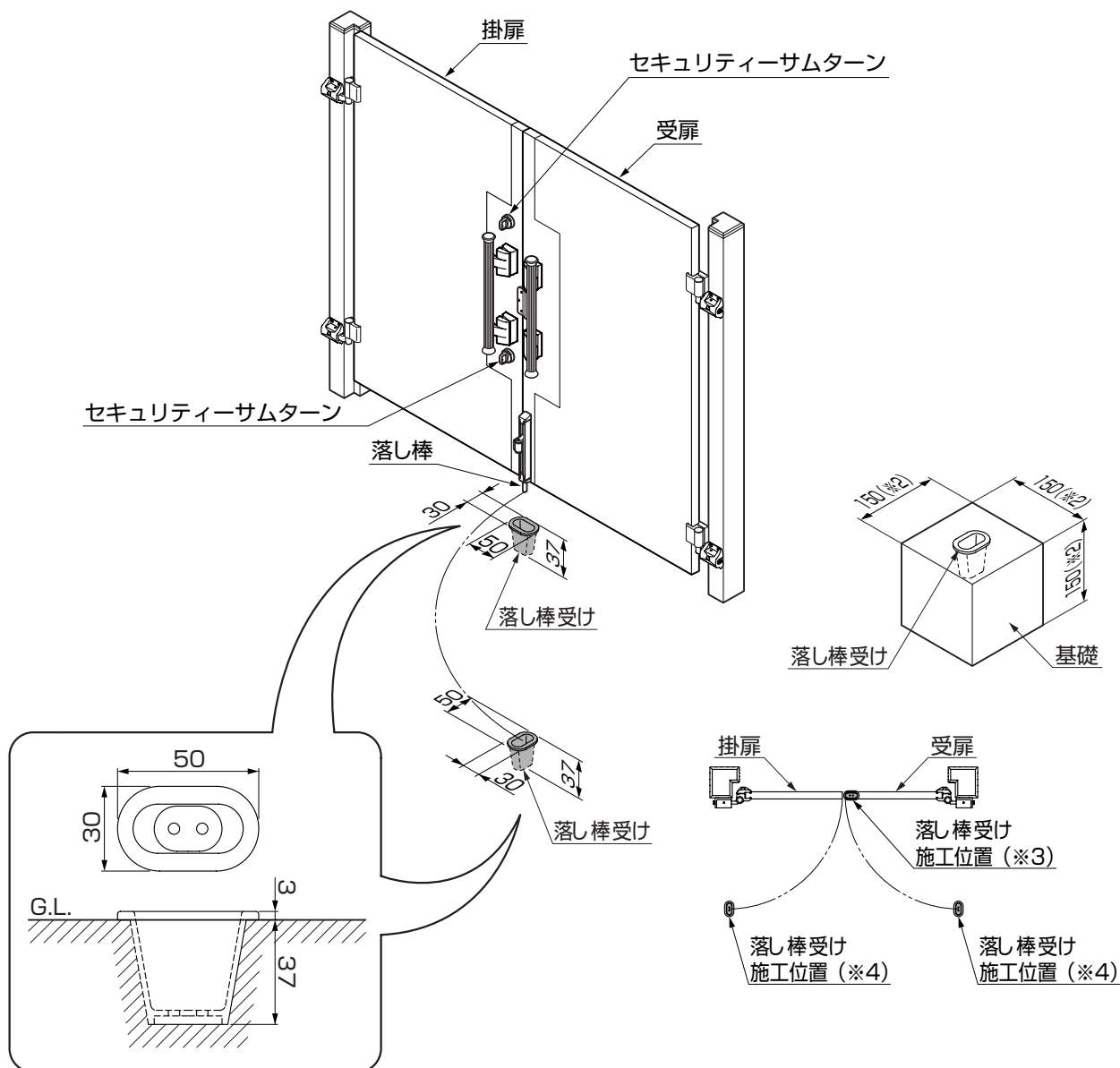


図7-3 落とし棒上側取付け

- ④上側取付け孔(※6)に【2-2】(※7)を締め付けて、落とし棒セットを取付けてください。
(図7-3参照)

8. 落とし棒受けの施工



①受扉を開いた状態と閉じた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※2、※3)

ポイント

- 落とし棒受けの埋込位置は、現場合わせて施工してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※1)
- 養生は、落とし棒を上げた状態で行ってください。風などによる扉の振動で、落とし棒受けの位置がずれるおそれがあります。
- 養生後、落とし棒と落とし棒受けの位置が合わない場合は、調整金具に同梱の取付説明書A107を参照して、調整金具で位置を合わせてください。

